

株式会社フィスコ

2008年12月期決算および事業説明会

2009年2月24日



目次

1. 今期（16期）の優先課題
2. 当15期（2008年12月期）の主な取り組み
3. 当15期（2008年12月期）決算概要
4. 今期（16期）に予定している主な取り組み
5. 今期（16期）の見通し

付属資料 主要財務データの過去5年推移

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料に記載した予想数値と異なる場合があること、また、本資料は情報の提供のみを目的として作成しており、投資等取引の勧誘を目的に作成しておりませんことをご留意ください。

今期の優先課題

● 現状認識

金融業界の地殻変動

- ・ 以前の姿には戻らない 新たなパラダイムの模索
- 金融の原点回帰 資源の最適配分実現への貢献

社会的使命の認識

● 優先課題

事業の安定的継続

- ・ 経営資源、特に現金残高の維持・確保

厳しさをチャンスに

- ・ 金融の原点に立脚した、変化の時代だからこそ求められる
情報サービスを追及

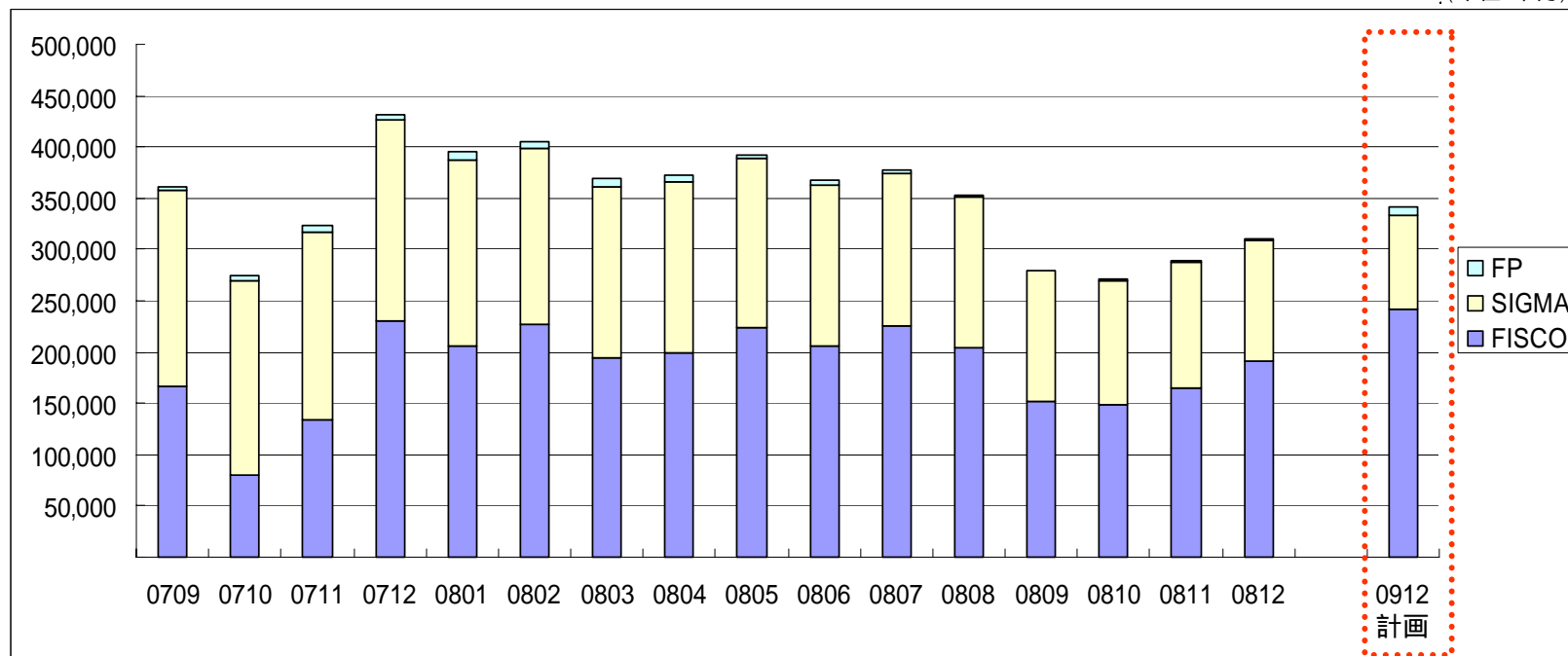
冷静な分析に基づく社会的責任ある独自のマーケット
情報の提供

座標軸の堅持

【参考】現預金残高の推移

対象：フィスコ、シグマベイスキャピタル、フィスコプレイス3社
TAKMAキャピタル、RPテックは除く

(単位:千円)



当15期の主な取り組み

当期の主な取り組み

1. 組織再編

- 株式会社フィスコプレイス(100%子会社)への一部事業譲渡

- クラブフィスコ事業
- ポータルサイト向け情報提供事業
- 携帯端末向け情報提供事業

[目的]

コンテンツの編集・制作・品質管理、顧客ニーズに
即応する商品開発と販売体制の強化

当期の主な取り組み

1. 組織再編

- リサーチアンドプライシングテクノロジー株式会社の持分法適用関連会社への変更

[目的]

独自性の追求

同社の人的資源の集中

- TAKMAキャピタル株式会社の連結からの除外

[目的]

当社の経営資源の集中

現金化

当期の主な取り組み

2. 資産の厳格な評価の実施

● 厳格な評価の主な対象

- 関係会社株式（連結子会社3社、持分法適用会社1社）
- ソフトウェア等保有固定資産
- 投資有価証券
- 棚卸資産の長期在庫（シグマ）

[目的]

抜本的な財務体質改善を実施し、収益力を高め、競争力、企画力を保持し、投資家や従業員をはじめ、利害関係者に寄与する優良企業を目指していくため

当期（15期）決算概要

連結損益計算書 主要項目（前年同期比）

增收 / 減益

（単位：百万円）

	2008年12月期		2007年12月期		増減	増減率
	対売上比		対売上比			
売上高	1,244	-	1,083	-	160	+14.9%
売上原価	439	35.3%	380	35.1%	58	+15.4%
売上総利益	804	64.7%	702	64.9%	102	+14.6%
販売管理費	952	76.6%	869	80.3%	83	+9.6%
営業利益	147	-11.9%	166	-15.4%	18	-
経常利益	236	-19.0%	196	-18.2%	39	-
当期純利益	613	-49.3%	76	-7.0%	536	-

連結損益計算書

セグメント別売上 主要項目増減（前年同期比）

1. セグメント別収益増減要因

情報サービス事業 + 30百万円 (前年同期比:+3.2%)

< 主な増収要因 >

.リアルタイムサービス + 30百万円 (+5.9%)

・主要提供先への契約内容改定を進める

.アウトソーシング + 25百万円 (+13.6%)

・先物・オプション関連情報、為替情報の新規受注が好調

.フィスコプレイス社 + 23百万円 (N/A)

・前期3Qより新規連結、当期より通期で寄与

連結損益計算書

セグメント別売上 主要項目増減（前年同期比）

1. セグメント別収益増減要因

情報サービス事業 + 30百万円 (前年同期比: +3.2%)

< 主な減収要因 >

・ポータルサービス 14百万円 (-27.5%)

・従量課金となる有料コンテンツサービスが減収傾向に

・クラブフィスコ (LaQoo + 含む) 21百万円 (-13.1%)

・国内株式市場の低迷、新規公開企業数の減少等により、
個人投資家の情報サービスに対する需要減少が進む

連結損益計算書

セグメント別売上 主要項目増減（前年同期比）

コンサルティング事業 + 27百万円（前年同期比54.9%）

< 主な増収要因 >

・TAKMAキャピタル社 + 29百万円(+119.3%)

・投信事業本格始動

（中間連結会計期間までの投信委託者報酬等を計上）

・「RASHINBAN（金融情報誌）」 + 4百万円(N/A)

・当期新規サービスが稼働開始、継続拡大に向けて営業推進中

連結損益計算書

セグメント別売上 主要項目増減（前年同期比）

教育事業 + 102百万円 (前年同期比: +136.4%)

< 主な増収要因 >

- ・シグマベイスキャピタル社 + 167百万円 (N/A)
- ・前期3Qより新規連結、当期より通期で寄与
- ・専門科部門、通信教育部門ともに過去最高を記録
(同社6月決算ベース)

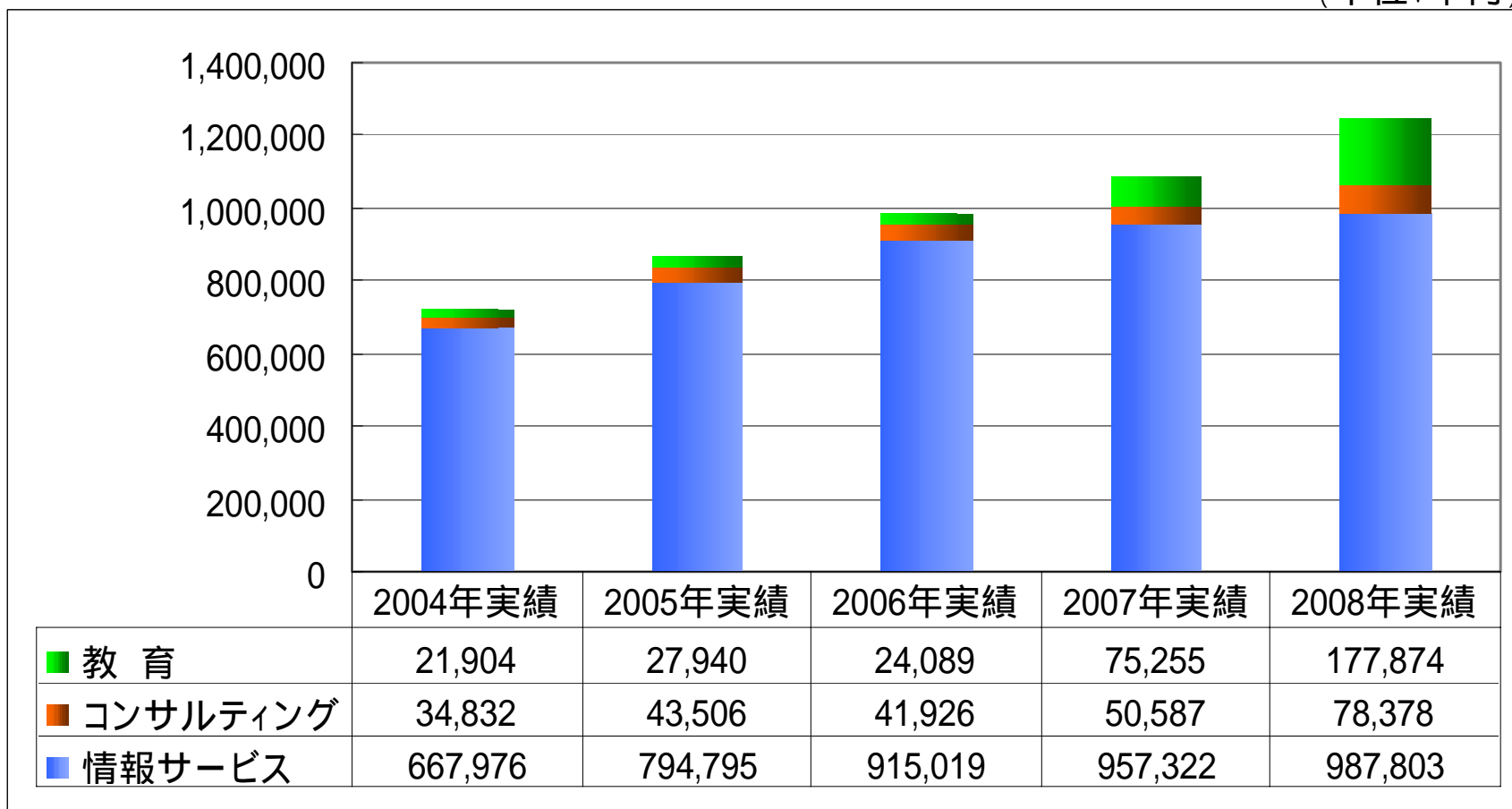
< 主な減収要因 >

- ・フィスコ社 28百万円 (-79.4%)
- ・社内教育研修・セミナー
前期売上に貢献したスポット受注の高額案件が減少

業績推移

セグメント別 事業の推移

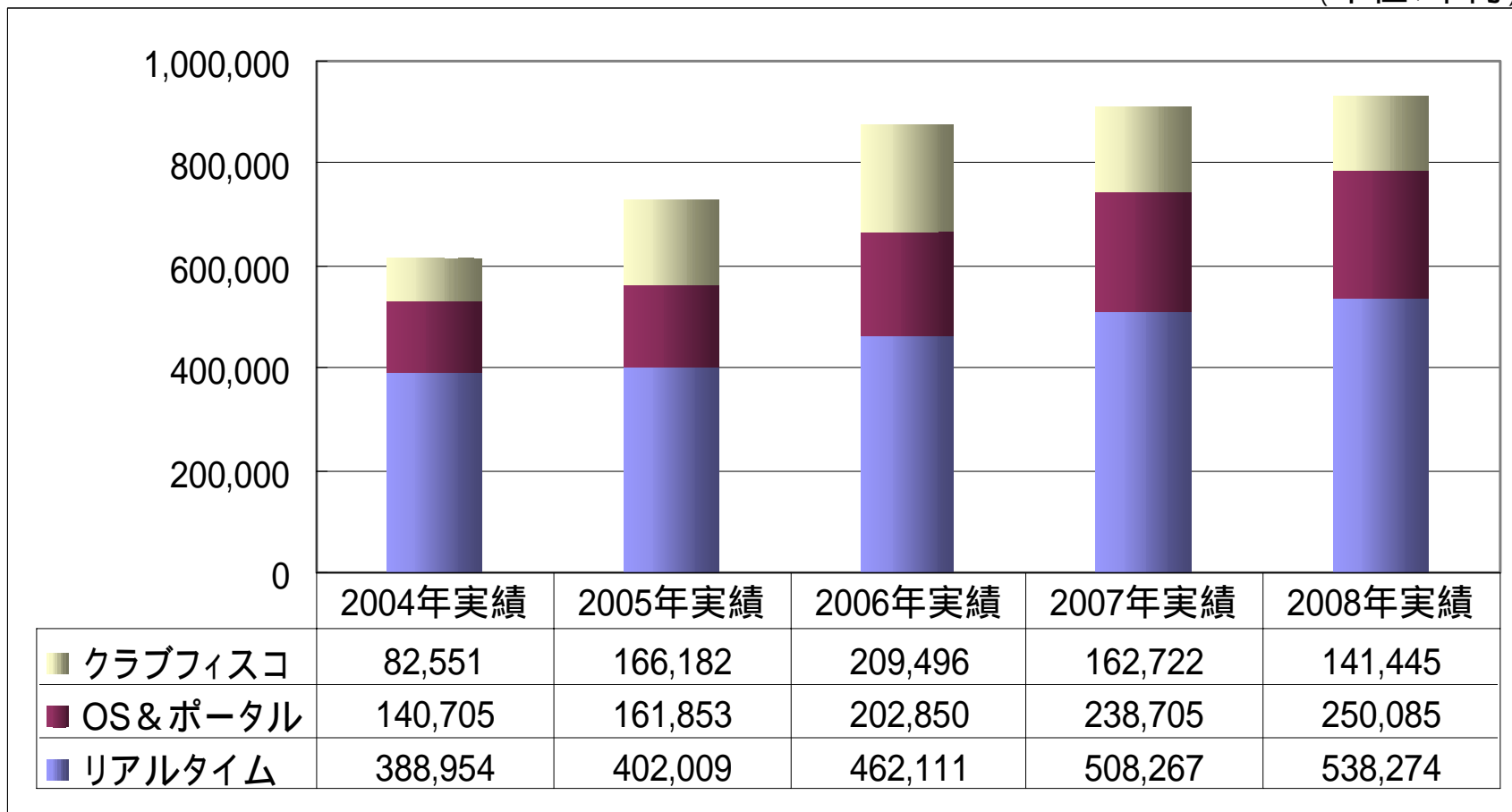
(単位:千円)



業績推移

情報サービスにおける主要3業種の推移

(単位:千円)



連結損益計算書 主な減益要因 (前年同期比)

2. 主な減益要因

売上原価の増加 + 58百万円 (前年同期比+15.4%)

- . TAKMAキャピタル社:投信事業本格稼働 + 20百万円
- . 連結子会社2社算入に伴う影響 + 46百万円
 - (フィスコプレイス社 + 23百万円)
 - (シグマベイスキャピタル社 + 22百万円)

販売管理費の増加 + 83百万円 (前期比+9.6%)

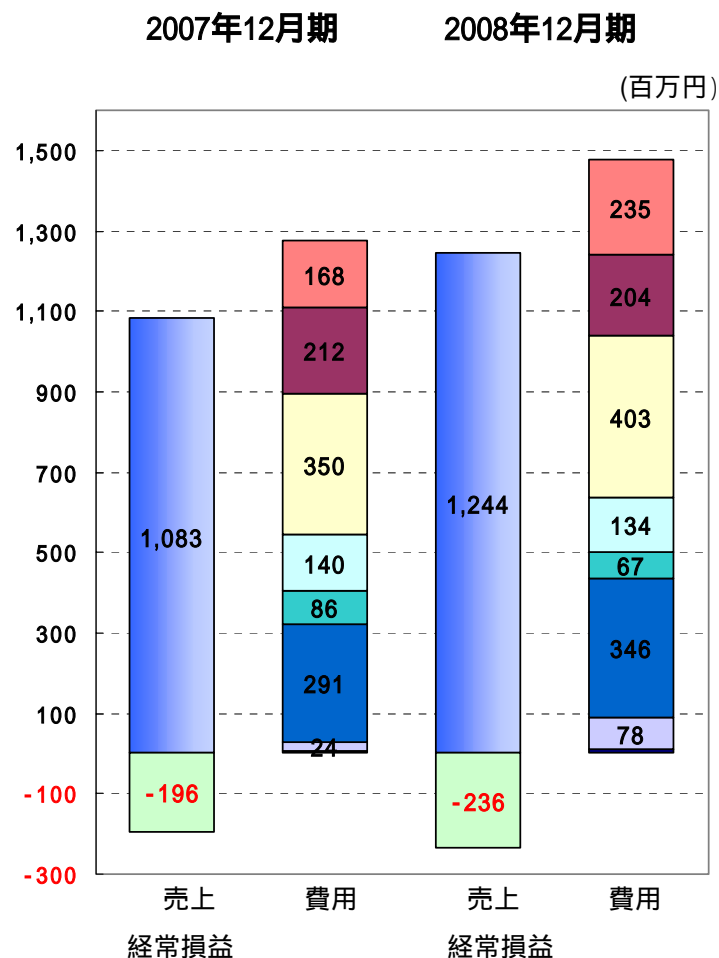
- . 連結子会社2社算入に伴う影響 + 127百万円
 - (フィスコプレイス社 + 7百万円)
 - (シグマベイスキャピタル社 + 119百万円)

< 参考 >

販売管理費の減少

フィスコ社	19百万円
TAKMAキャピタル社	37百万円

業績推移（収益・経常損益・費用構成）



区分	2007年12月期		2008年12月期	
	百万円	対売上比	百万円	対売上比
売上高	1,083	-	1,244	-
その他売上原価	168	15.5%	235	21.7%
人件費(売上原価)	212	19.6%	204	18.8%
人件費(販管費)	350	32.3%	403	37.3%
システム関連	140	13.0%	134	12.4%
減価償却費	86	8.0%	67	6.2%
その他販売管理費	291	26.9%	346	32.0%
持分法による投資損失	24	2.3%	78	7.2%
その他営業外損益	5	0.5%	10	1.0%
経常損益	-196	-	-236	-

連結損益計算書 主な減益要因（前年同期比）

2. 主な減益要因

特別損失の計上 467百万円

- ・ 関係会社株式に対する評価減
 （業績低迷による当初回収計画の遅れ）

持分法による投資損失(NNA社)	241百万円
のれん減損損失(フィスコプレイス社)	51百万円
のれん減損損失(シグマ社)	14百万円

- ・ 保有固定資産の減損
 （市況悪化に伴う個人向けサービス事業の低迷）

フィスコ(ソフトウェア・器具及び備品)	78百万円
フィスコプレイス社(ソフトウェア)	14百万円

- ・ 投資有価証券評価損(時価下落による減損処理) 49百万円

比較連結貸借対照表 主要項目（前期末比）

科目	当期末 2008年12月31日		前期末 2007年12月31日		増減
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	
(資産の部)					
流動資産	528	61.1%	1,240	58.4%	711
固定資産	336	38.9%	876	41.3%	539
1.有形固定資産	48	5.6%	100	4.7%	51
2.無形固定資産	18	2.1%	176	8.3%	158
3.投資その他の資産	269	31.2%	600	28.3%	330
繰延資産	0	-	6	0.3%	6
資産合計	864	100.0%	2,122	100.0%	1,257
(負債の部)					
流動負債	213	24.6%	220	10.4%	6
固定負債	186	21.6%	355	16.7%	169
負債合計	399	46.2%	575	27.1%	176
(純資産の部)					
資本金	748	86.5%	748	35.2%	0
資本剰余金	402	46.6%	402	19.0%	0
利益剰余金	626	72.5%	13	0.6%	613
自己株式	43	5.0%	43	2.0%	0
評価・換算差額等	16	1.8%	23	1.1%	7
少数株主持分	0	-	476	22.4%	476
純資産合計	465	53.8%	1,546	72.9%	1,081
負債純資産合計	864	100.0%	2,122	100.0%	1,257

連結貸借対照表 主要項目増減要因（前期末比）

1. 資産の部 主な変動要因

現預金 670百万円

- ・TAKMAキャピタル社連結除外（ 527百万円）
- ・フィスコ、シグマベイスキャピタル社借入金返済（ 180百万円）

有形固定資産 51百万円

- ・償却、ほかフィスコ器具及び備品につき減損損失（ 16百万円）

のれん 73百万円

- ・フィスコプレイス社のれん減損損失（ 51百万円）
- ・シグマベイスキャピタル社のれん減損損失（ 14百万円）
- ・償却

ソフトウェア 85百万円

- ・フィスコ減損損失（ 63百万円）
- ・フィスコプレイス社減損損失（ 13百万円）

連結貸借対照表 主要項目増減要因（前期末比）

2. 負債の部 主な変動要因

借入金返済(短期・長期)	180百万円
・フィスコ及びシグマベイスキャピタル社借入金返済	

3. 純資産の部 主な変動要因

利益剰余金	613百万円
・当期純損失の計上	
少数株主持分	476百万円
・TAKMAキャピタル社連結除外等	

今期(16期)に予定している主な取り組み

厳しさをチャンスに

グループ再編による回生

今期に予定している主な取り組み

1. 情報サービス事業

体制整備

➤ 顧客ニーズの特性を重視した組織再編

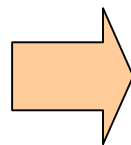
< 役割分担の明確化 >

- ・フィスコ リサーチ事業に特化（主に法人向け）
- ・フィスコプレイス レポート等の企画・制作
（主に最終投資家向け）

< 従来組織 >

金融機関等の法人向けと
個人投資家の両顧客に対
し、同一ソースによる商
品・サービスを開発・提
供。

Products out



< 新組織 >

顧客の選択眼が厳しくなる
中で、顧客ニーズを明確に
把握し、担当組織が機動的
に対応。

Market in

今期に予定している主な取り組み

1. 情報サービス事業

体制整備

➤ 新情報配信システムの構築

パッチワーク的改造を重ねながら使用してきた情報配信システムを刷新

執筆担当者の配信時における作業負荷を一掃し、コンテンツ作成に集中できる環境を整備

- ・制作（執筆）時間を最大限確保し、サービスの質と量を向上
- ・配信記事の正確性を向上

今期に予定している主な取り組み

1. 情報サービス事業

15期開始コンテンツ 選別の厳格化

➤ 「エマージング・マーケット・ウォッチ」

アジア、BRICSの新興国市場を対象とした情報配信サービス

< 進捗状況 >

有力金融機関（国内外の大手証券会社、運用会社等）からの定期購読を受注。取引先は一定の純増ベース。

< 今後の見通し >

当面は、ラインナップ補完コンテンツとして、顧客ニーズを基に改訂継続。

投資対象としての新興国市場の存在が今後も重要度を増すものと見ており、将来の当社主力コンテンツとして期待している。

内需主導の経済成長へ

今期に予定している主な取り組み

1. 情報サービス事業

15期開始コンテンツ 選別の厳格化

➤ 「フィスコモバイル」

国内株式及び為替情報 携帯電話配信サービス

- ・ NY特派員事務所から配信する、米国市場情報
- ・ 情報は量・質ともに充実

< 進捗状況 >

個人の投資情報購入意欲、及び一般的な消費意欲が減退する中
定期購読者は一定の純増ベースを維持。

< 今後の見通し >

顧客ニーズを基に改訂を継続、広告活動も積極展開。
一方、顧客の増加推移については検証を継続。

今期に予定している主な取り組み

1. 情報サービス事業

15期開始コンテンツ 選別の厳格化

➤ 「銘柄カルテ」

国内上場銘柄の診断ツール

- ・ファンダメンタルズおよびテクニカルの両面から診断
- ・マネー誌でも2誌に採用されている
- ・広告収入モデルでの利用を検討

< 進捗状況 >

個人投資家の投資意欲減退を受け、入会ペースは予想を下回る。

< 今後の見通し >

個人投資家向けの更なる改良、法人向け（BtoBtoC）への提供、両睨みで今後の展開を図る。

今期に予定している主な取り組み

2. コンサルティングサービス事業

15期開始コンテンツ 選別の厳格化

➤ 「RASHINBAN」

海外主要市場情報を核とした金融情報誌

広告を一切入れない < 買い切り >

高品質な情報誌としての構成が特徴

< 進捗状況 >

金融商品販売の支援ツールとして、地方金融機関に紹介、有力地銀に採用後、評価を得て2号目より刷数増加。
販促費用凍結傾向の中でも、検討継続先多数。

< 今後の見通し >

顧客ニーズを基に、改訂を継続、粘り強く育てる。
地方銀行以外の金融機関も営業対象とし、販売先の拡充を図る。

今期に予定している主な取り組み

3. 教育事業

シグマベイスキャピタルの収益力強化

➤ 通信教育の拡販

社員教育用教材として金融機関、証券会社を中心に受講者の拡大を図るとともに、新たに商社をはじめとする一般企業向けにも拡販を図る。

➤ 専門科・受託研修先の拡大

主要顧客である公的機関、金融機関、監査法人から対象を広げ、システム会社や商社、電力会社など非金融機関への研修先拡大を目指し、営業・講座開発に努める。

➤ 経費の節減（教室を含む会社の移転）

経費節減とコンプライアンス強化、さらにシステムサポートの強化をねらい6月にフィスコへ移転する。

今期（16期）の見通し

今期の見通し

【通期】

(単位:百万円)

	2009年12月期 対売上比		2008年12月期 対売上比		増減	増減率
売上高	1,209	-	1,244	-	34	-2.7%
営業利益	53	4.4%	147	-11.9%	201	-
経常利益	50	4.1%	236	-19.0%	287	-
当期純利益	32	2.6%	613	-49.3%	645	-

【中間】

	2009年12月期 対売上比		2008年12月期 対売上比		増減	増減率
売上高	589	-	651	-	61	-9.5%
営業利益	7	1.2%	120	-18.5%	128	-
経常利益	0	0.0%	150	-23.1%	151	-
当期純利益	0	-0.0%	368	-56.5%	367	-

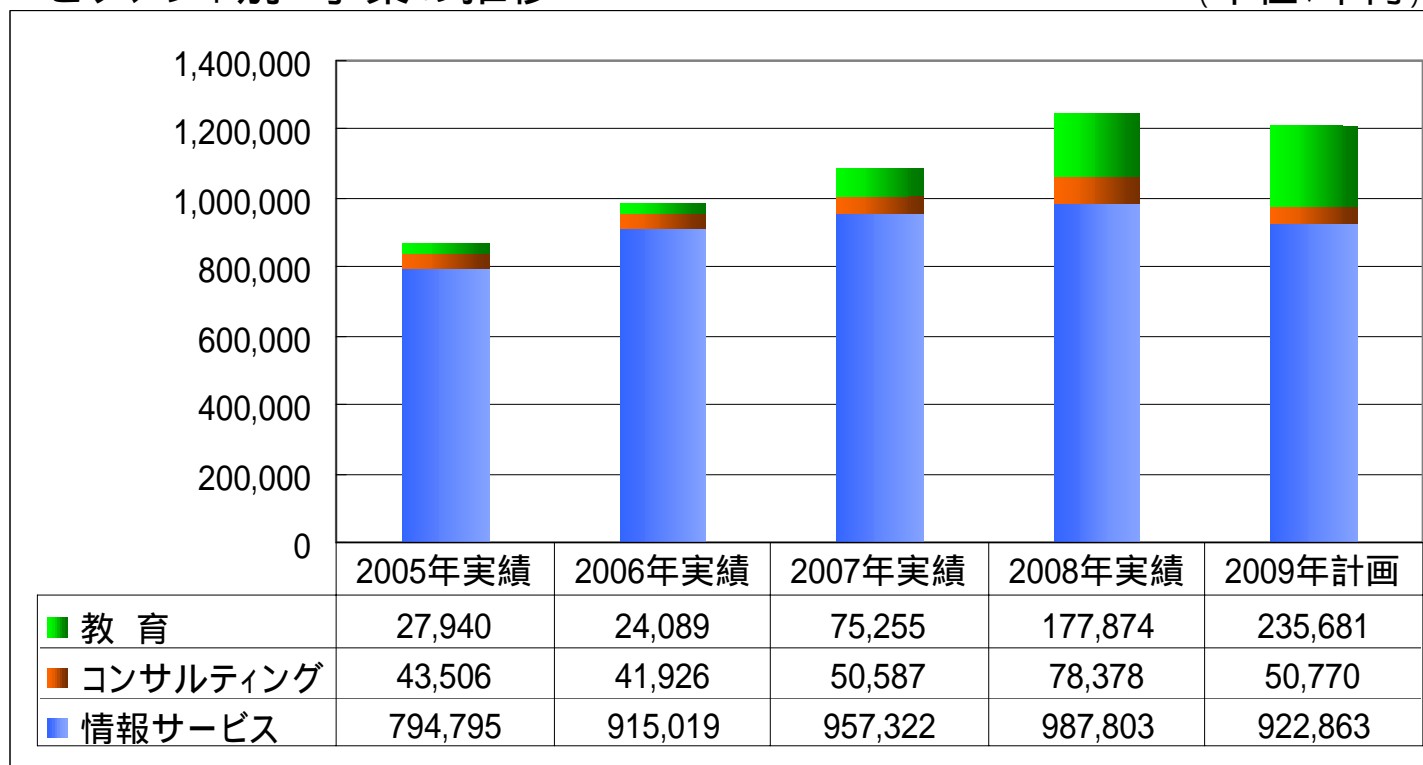
今期の見通し

セグメント別業績予想

情報サービス	922百万 (前期比	64百万	6.6%)
コンサルティング	50百万 (前期比	27百万	35.2%)
教育	235百万 (前期比	+ 57百万	+ 32.5%)

セグメント別 事業の推移

(単位:千円)

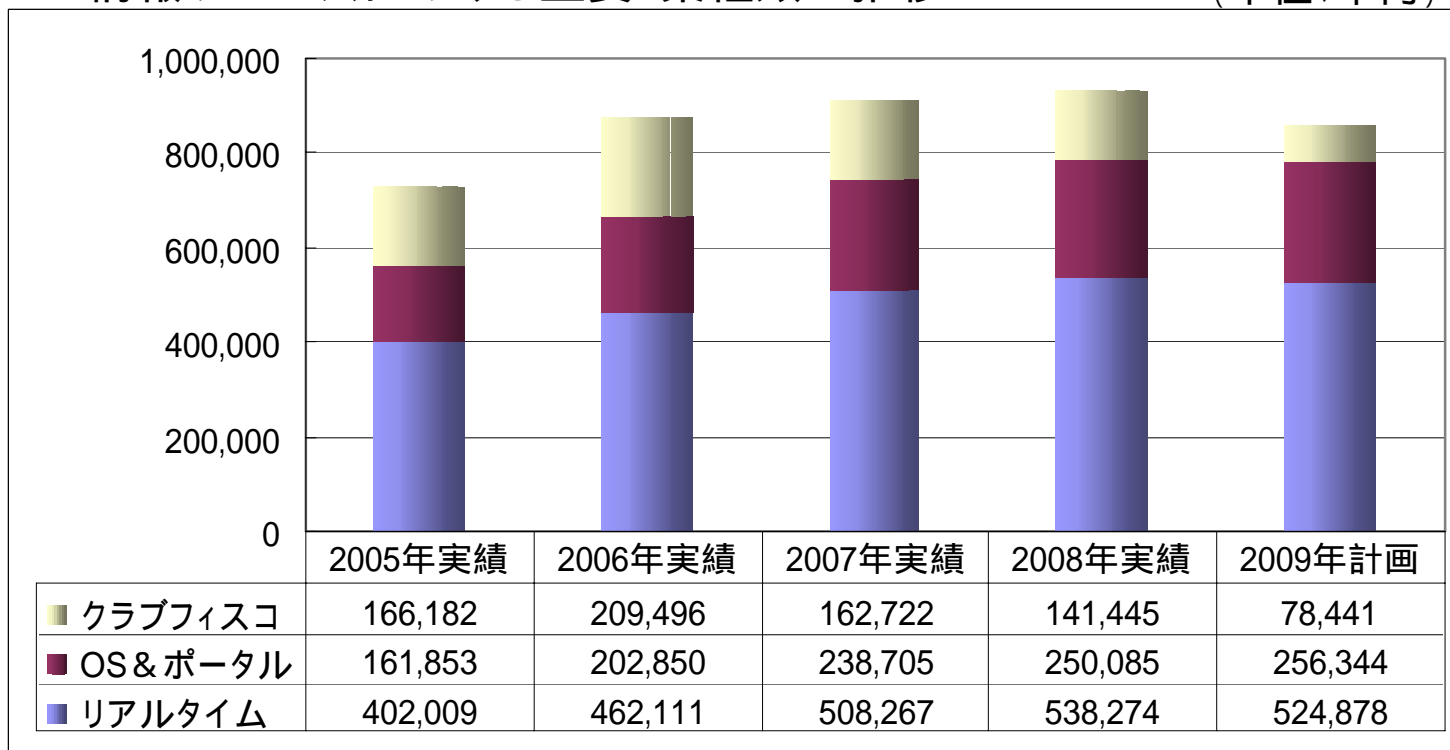


今期の見通し

主要3業種の業績予想

リアルタイム情報サービス	524百万(前期比	13百万	2.5%)
アウトソーシング&ポータル	256百万(前期比	+6百万	+2.5%)
クラブフィスコ	78百万(前期比	63百万	44.5%)

情報サービスにおける主要3業種類の推移 (単位:千円)



フィスコの今後に、ご注目ください

投資は知的アドベンチャー



付属資料 主要財務データの過去5年推移

Index

財務ハイライト

貸借対照表

損益計算書

売上原価及び主な販売管理費

キャッシュフローの状況

一部を除きデータは連結ベースで作成しております。

付属資料 主要財務データの過去5年推移

財務ハイライト

(単位:千円)

	第10期 2004.06 (12ヶ月)(連結)	第11期 2004.12 (6ヶ月)(連結)	第12期 2005.12 (12ヶ月)(連結)	第13期 2006.12 (12ヶ月)(連結)	第14期 2007.12 (12ヶ月)(連結)	第15期 2008.12 (12ヶ月)(連結)
売上高	650,106	362,357	866,242	981,035	1,083,165	1,244,056
前期比	11.6%	-	139.1%	13.3%	10.4%	14.9%
営業利益	69,904	2,573	90,053	42,845	-166,492	-147,658
売上高営業利益率	10.8%	0.7%	10.4%	4.4%	-15.4%	-11.9%
経常利益	67,040	-2,564	90,494	39,233	-196,702	-236,217
売上高経常利益率	10.3%	-0.7%	10.4%	4.0%	-18.2%	-19.0%
当期純利益	65,012	-7,944	106,990	22,706	-76,324	-613,003
売上高当期利益率	10.0%	-2.2%	12.4%	2.3%	-7.0%	-49.3%

1株当たり当期純利益(円)	2,782.59	-302.17	3,016.90	733.83	-2,325.55	-18,567.97
---------------	----------	---------	----------	--------	-----------	------------

	第10期 2004.06 (12ヶ月)(連結)	第11期 2004.12 (6ヶ月)(連結)	第12期 2005.12 (12ヶ月)(連結)	第13期 2006.12 (12ヶ月)(連結)	第14期 2007.12 (12ヶ月)(連結)	第15期 2008.12 (12ヶ月)(連結)
資本金	317,056	445,316	452,624	720,257	748,129	748,129
株主資本	374,107	596,795	711,094	1,167,066	1,094,265	465,177
総資産	475,545	767,244	896,769	1,349,408	2,122,727	864,956

付属資料 主要財務データの過去5年推移

簡易貸借対照表

(単位:千円)

	第10期 2004.06 (12ヶ月)(連結)	第11期 2004.12 (6ヶ月)(連結)	第12期 2005.12 (12ヶ月)(連結)	第13期 2006.12 (12ヶ月)(連結)	第14期 2007.12 (12ヶ月)(連結)	第15期 2008.12 (12ヶ月)(連結)
現金及び預金	143,727	296,436	390,626	560,331	985,059	314,155
売掛金	85,577	86,764	130,018	109,456	154,775	146,840
その他	38,402	63,945	47,569	168,222	100,353	71,018
貸倒引当金	-93	-277	-401	-178	-141	-3,582
流動資産合計	267,613	446,868	567,812	837,831	1,240,047	528,431
有形固定資産	33,581	84,877	76,387	65,133	100,002	48,464
無形固定資産	86,329	138,606	137,249	141,270	176,272	18,118
投資その他	88,021	94,434	114,512	297,861	600,160	269,856
固定資産合計	207,932	317,918	328,149	504,245	876,436	336,439
繰延資産	-	2,457	807	7,331	6,243	85
資産合計	475,545	767,244	896,769	1,349,408	2,122,727	864,956
買掛金	8,764	3,905	5,959	4,258	8,014	14,751
短期借入金	12,964	22,320	22,780	20,580	124,800	109,334
未払法人税等	293	1,637	2,138	6,776	4,505	3,380
前受金	15,725	16,216	27,102	19,711	23,749	30,192
その他流動負債	26,393	42,749	61,128	50,479	59,182	55,595
流動負債	64,139	86,827	119,107	101,804	220,253	213,254
長期借入金	31,204	80,411	65,631	39,251	348,402	183,108
その他固定負債	3,210	3,210	-	-	7,145	3,417
固定負債	34,414	83,621	65,631	39,251	355,547	186,525
資本金	317,056	445,316	452,624	720,257	748,129	748,129
資本剰余金	51,683	151,683	151,683	402,797	402,838	402,838
利益剰余金	5,366	-204	106,786	87,092	-13,620	-626,623
自己株式	-	-	-	-43,082	-43,082	-43,082
株主資本合計	374,107	596,795	711,093	1,167,066	1,094,265	481,261
その他	-	-	-	41,286	452,661	-16,084
純資産合計	374,107	596,795	711,094	1,208,352	1,546,926	465,177

付属資料 主要財務データの過去5年推移

簡易損益計算書

(単位:千円)

	第10期 2004.06 (12ヶ月)(連結)	第11期 2004.12 (6ヶ月)(連結)	第12期 2005.12 (12ヶ月)(連結)	第13期 2006.12 (12ヶ月)(連結)	第14期 2007.12 (12ヶ月)(連結)	第15期 2008.12 (12ヶ月)(連結)
売上高	650,106	362,357	866,242	981,035	1,083,165	1,244,056
売上原価	104,607	114,919	272,030	278,947	380,484	439,144
販管費	475,594	244,863	504,158	659,242	869,173	952,569
営業利益	69,904	2,573	90,053	42,845	-166,492	-147,658
営業外収益	1,005	1,049	5,312	2,969	3,973	7,480
営業外費用	3,870	6,187	4,871	6,581	34,183	96,039
経常利益	67,040	-2,564	90,494	39,233	-196,702	-236,217
特別利益	-	-	21	5,488	48,735	15,769
特別損失	1,846	7,974	3,781	155	2,753	467,717
法人税等	295	290	393	5,201	1,757	1,815
法人税等調整額	-	-	-20,586	19,176	-5,324	6,734
当期純利益	65,012	-7,944	106,990	22,706	-76,324	-613,003

付属資料 主要財務データの過去5年推移

売上原価(単体)

(単位:千円)

	第10期 2004.06	第11期 2004.12(6ヶ月)	第12期 2005.12	第13期 2006.12	第14期 2007.12	第15期 2008.12
商品売上原価	2,064	1,880	3,650	988	-	-
制作人件費	-	71,430	167,136	181,283	212,408	203,889
制作外注費	102,542	44,362	110,067	112,599	128,804	138,414
合 計	104,607	117,674	280,854	294,872	341,212	342,304

主な販売費及び一般管理費(連結)

(単位:千円)

	第10期 2004.06 (12ヶ月)(連結)	第11期 2004.12 (6ヶ月)(連結)	第12期 2005.12 (12ヶ月)(連結)	第13期 2006.12 (12ヶ月)(連結)	第14期 2007.12 (12ヶ月)(連結)	第15期 2008.12 (12ヶ月)(連結)
役員報酬	15,760	23,708	51,200	67,570	86,854	111,225
給与	240,508	58,065	124,078	147,579	221,284	238,840
法定福利費	28,288	9,595	21,167	25,336	34,936	40,749
業務委託費	53,194	38,035	91,513	164,757	227,983	112,713
減価償却費	33,944	23,909	66,845	76,373	86,802	24,694
その他	103,900	91,551	149,355	177,627	267,477	424,346
合 計	475,594	244,863	504,158	659,242	869,173	952,569

付属資料 主要財務データの過去5年推移

キャッシュフロー

(単位:千円)

	第10期 2004.06 (12ヶ月)(連結)	第11期 2004.12 (6ヶ月)(連結)	第12期 2005.12 (12ヶ月)(連結)	第13期 2006.12 (12ヶ月)(連結)	第14期 2007.12 (12ヶ月)(連結)	第15期 2008.12 (12ヶ月)(連結)
営業活動によるキャッシュフロー	115,079	21,916	163,918	96,097	-53,576	-76,109
投資活動によるキャッシュフロー	-101,292	-122,581	-77,846	-287,783	-245,161	25,505
財務活動によるキャッシュフロー	-19,224	258,422	-7,438	462,162	631,764	-180,807
換 算 差 額	-2,437	-399	958	503	-0	-278
現金及び現金同等物の増減額	-7,873	157,357	79,592	270,980	333,025	-231,690
現金及び現金同等物の期首残高	161,550	153,676	311,034	390,626	661,606	994,632
連結除外に伴う 現金及び現金同等物の減少額	-	-	-	-	-	-448,786
現金及び現金同等物の期末残高	153,676	311,034	390,626	661,606	994,632	314,155